

緑の相談所だより

No. 118

財団法人 旭川市公園緑地協会 旭川市緑の相談所
〒078-8327 旭川市神楽岡公園内 電話 0166-65-5553

発行:平成 21年 6月 1日

講習会のご案内

「山野草の育て方」(初級)

とき 平成 21年 6月 7日(日)
PM 1:30~ 3:30 定員 50名
講師 北海道山草趣味の会
会長 松本 信作さん

「庭木の剪定」(実習)

—ツツジ類など花木—
とき 平成 21年 6月 21日(日)
PM 1:30~ 3:30 定員 30名
講師 旭川市公園緑地協会 職員

「バラづくり実践」

—剪定と育て方—
とき 平成 21年 6月 28日(日)
PM 1:30~ 3:30 定員 50名
講師 旭川バラ会 副会長 後路 和美さん

「楽しいガーデニング」

—花と野菜の病害虫防除—
とき 平成 21年 7月 4日(土)
PM 1:30~3:30 定員 20名
講師 相談員 青田 盾彦
場所 永山中央公園管理棟

「神楽岡公園自然観察会」

—夏の野草観察— (親子、一般)
とき 平成 21年 7月 5日(日) 定員 30名
PM 1:30~ 3:30
講師 旭川帰化植物研究会
代表 塩田 惇さん

講習会は
予約が必要
です

「楽しいガーデニング」(実習)

—観葉植物の寄せ植え—
とき 平成 21年 7月 12日(日)
PM 1:30~ 3:30 定員 30名
講師 相談員 石川 敏雄
教材費 600円

展示会のご案内

「旭川のヤナギ展」出展:旭川みどり21の会
平成 21年 6月 1日~25日

「山野草展」出展:北海道山草趣味の会
平成 21年 6月 5日~7日

「バラ展」出展:旭川バラ会
平成 21年 6月 26日~28日

「植物写真展」出展:森さん、鈴木さん、尾崎さん
平成 21年 7月 1日~30日

☆4月から10月は第2・4月曜日が休館日です。

11月から3月は毎週月曜日が休館日です。(祝日の場合は翌日)

お知らせ

花フェスタ 2009 旭川

6月10日~6月14日 ところ:大雪アリーナ
※会場内に相談コーナーを開いています
※クリスタルパークにてお茶会(野点)開催(14日)

緑のセンターまつり 2009

8月2日(日)10:00~16:00 神楽岡公園
催し物:親子もちつき大会、球根プレゼント、
寄せ植え体験教室、フラワービンゴ、ハンギング
バスケット、花と緑の相談コーナー、園芸市、
緑日コーナー、野菜、くだもの即売会、太鼓ほか...

6月の園芸作業

1 草花・球根・鉢花類

秋植え球根のチューリップなどは、花が終わったら、花がら摘みを行い、花首や花茎は切り取りますが葉は刈り取らず、球根の肥大を図ります。

ダリア、グラジオラスなど春植え球根は植え付けの適期です。

観葉植物のカポックなど節間が伸び乱れた株は切り戻して剪定し、取り木をする時期です。また、根詰まりしている鉢は植え替えの適期です。

ポインセチアは剪定し、植え替えの時期です。処理後2週間までは水やりのみ、新芽の発生で液肥を与えましょう。

ハイビスカス、ブーゲンビレア、クチナシなど植え替えの適期です。ポイントは必要以上に鉢を大きくしないこと。(1号分程度)

シャコバサボテン、クジャクサボテンなどは外に出し太陽の光を十分にあてましょう。

2 庭木・果樹類

クロマツなどのマツ類は移植、定植の時期です。また、新芽が伸び樹形が乱れてくるのでみどり摘みといって柔らかい棒状の芽を指で折って調整しましょう。

ツツジ、シャクナゲ、ライラックなどは花後、花がら摘みをしましょう。

リンゴ、ナシはなるべく早く一箇所から出た複数果実のうち形が良く大きい果実を1つ残し、プラムやプルーンは果実がぶつからない程度に摘果しましょう。

ブドウの副芽や込み合っている芽を摘除する芽かきを行います。また新梢は受光環境をよくするため早芽に誘引しましょう。

シンクイガの発生(下旬に第1回産卵期)が多くなりますので、リンゴ、ナシは袋かけ(6月下旬~7月上旬)をし、スモモ類は定期的に殺虫剤を散布しましょう。

7月の園芸作業

1 草花・球根・鉢花類

パンジー、デージーは来年の春花壇用に中旬ごろまでに種をまきましょう。

春植え球根のダリア、カンナ、グラジオラスなどは盛んに生長していますので支柱立てをし開花後は花がら摘みをしましょう。

ブーゲンビレアは開花期です。開花後、新梢が伸びたら順次切り戻し、水やりを控え、日当たりの良い場所で管理しましょう。

ポインセチアは生育が盛んな時期です。肥料と水は切らさず、日光に十分当てましょう。

クジャクサボテンは直射日光に十分当て肥培管理し茎を太らせましょう。

四季咲きペコニアの伸びた茎をピンチ(切り戻し剪定)することで新芽が伸び、次々と花をつけますので忘れないようにやりましょう。

2 庭木・果樹類

針葉樹の枝は葉が付いていないと枯れやいので、深く刈り込んだ強剪定はできませんので注意しましょう。

生垣、玉物、イチイ(2度刈り)の剪定期です。なお、花木類はすでに花芽ができてしまっているため刈り込むと全体の花芽を落としてしまうので注意しましょう。

ライラック、レンギョウ、フジ、ツツジなどは花芽ができる時期なので、リン、カリを多く含む肥料をやりましょう。

今月下旬、スモモ類にシンクイガの2回目の産卵期ですので、殺虫剤を散布しましょう。また、リンゴに黒点病、ナシに赤星病などが発生しやすいので殺菌剤を散布しましょう。

リンゴ、ナシ、サクランボ、スモモなどは枝の背面から直立した枝(徒長枝)が勢い良く出て、日当たりを悪くしますので剪定しましょう。(夏剪定)

植物の病害虫

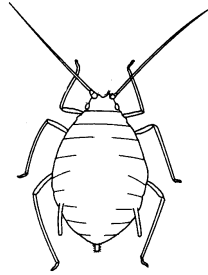
その4 「アブラムシ類」

野菜類に寄生して被害を与えるアブラムシ類は、ワタアブラムシ、モモアカアブラムシ、ジャガイモヒゲナガアブラムシ、ダイコンアブラムシ、ニセダイコンアブラムシなどがあります。

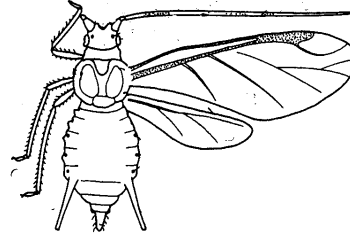
アブラよる被害は、吸汁による直接被害のほかに、ウイルス病の媒介が重要です。

○ 形態

アブラムシは胎生生殖をする世代と両性で卵生生殖をする世代とがあります。前者には幹母、無翅胎生雌虫と有翅胎生雌虫とがあり、後者には産卵雌虫（両性雌虫）と雄虫とがあります。これらは外部形態によって区別できますが、時には別種と間違えるほど異なるものもあります。



無翅胎生雌虫



有翅胎生雌虫（右脚と左翅は省略）

○ 生態（生活史）

アブラムシは一般に春から秋までに単性生殖によって子虫を胎生しますが、晩秋になると産卵雌虫が現われて雄虫と交尾して卵を産みます。この卵は、越冬する寄主植物の芽の付け根に産みつけられることが多く、葉裏、樹皮下にも産みつけられます。卵は翌春ふ化して胎生雌虫になります。胎生雌虫には、無翅と有翅があってこれらは単性生殖によって産まれたものです。

○ 飛行

アブラムシの有翅型は空中を飛ぶことができますが、実際には飛び上がってから後は風に乗って浮遊するようです。その飛行距離は短いこともありますが、長い場合は数百Kmにも及ぶことがあります。有翅虫はウイルス病の媒介に深い関連性をもっています。飛行後の空中の有翅アブラムシは地表の緑～黄～澄色のような波長の長い色に反応し、とくに黄色にはひかれます。無翅虫も移動しますが、その距離は5mらいであり長くはありません。

4月から9月まで第2・4月曜日は休館日です。
10月以降、毎週月曜日休館（祝日の場合は翌日）

春花壇の終りに

春の雪融けから花壇を賑わしていた花々が終わろうとしています。次の三つの花については特に注意が必要です。

1. チューリップとヒヤシンス

これらの花は、花が散りはじめたら花梗から花を切り取り葉は残したまま枯れるまで（7月下旬頃）育てます。枯れたら掘り上げて陰干しにしてタマネギ袋等に保管して秋に植えます。花を切ってから枯れるまで長いので夏花壇の場所では悩みの種ですが、球根のためには、そのまま育てなければなりません。移植すると根が切れて復元出来ないため球根が育ちません。

一方、植えて1年目であればそのまま育て翌年も花を見ることが出来ます。



2. コルチカム（イヌサフラン）

春の花々と同じように発芽して一見ギョウジャニンニクのようなつややかな葉が茂り、花を見ないままいつの間にか消えていく植物がコルチカムです。青々と茂っていた葉が夏に枯れはじめるので、病気でも発生したかと心配するようです。その後、何も無くなりますので、耕起してしまい球根を痛めてしまうという失敗もあります。コルチカムは葉が枯れてしばらくして秋風が吹く頃に、地表からクロッカスのような色のあざやかなピンクの花だけが咲き出し、秋の花壇を飾るのです。



展示室の植物たち（24）

ビカクシダ

ウラボシ科コウモリラン属

明治初年の頃（1870年代）、オーストラリア熱帯地方の原産で観葉植物として輸入されたものです。裂けた葉の形が麩角（びか）、オオシカの角に似ていることからビカクシダと和名がつけられました。常緑性多年草でヘゴ材に着生させて栽培しますが、当相談所の展示室では中央にあるシュロの古木に寄り添って、ひっそりと育っています。

